

【調査・事業報告】

企画展「えどはくでおさらい！」開催報告

阿部 由紀洋*、齋藤 優美**

目次

はじめに

1. 展覧会のタイトルおよび会期等
2. 展覧会開催にむけて
3. 資料の選定
 - (1) 肖像画
 - (2) 常設展・特別展との調整
 - (3) さまざまな複製資料
4. 展示手法の工夫
 - (1) より実感できる展示の工夫
 - (2) キャプションをわかりやすく
 - (3) 参加型の展示
 - (4) 当館制作映像の利用
5. 広報
6. 「江戸編」「近代編」実施報告
 - (1) 「江戸編」
 - ① 展示項目の設定
 - ② 展示資料と会場レイアウト
 - ③ 展示用造作物
 - ④ 関連事業の実施
 - ⑤ 展覧会の評価
 - (2) 「近代編」
 - ① 展覧会の概要
 - ② 江戸編と異なる点
 - ③ 展示構成と会場レイアウト
 - ④ 資料の選定
 - ⑤ 映像資料の活用
 - ⑥ 関連事業の実施
 - ⑦ 展覧会の評価

おわりに

キーワード 教科書 小学生 中学生 江戸 近代 展覧会

*東京都江戸東京博物館学芸員

**東京都江戸東京博物館専門調査員

はじめに

平成20～21年度にわたって、教科書に掲載されている事項を館蔵資料で紹介する展覧会、「えどはくでおさらい！」展を開催した。本展覧会は、「江戸時代」編（以下、江戸編、とする）と「明治・大正時代」編（以下、近代編、とする）の2種類があり、江戸編は2回、近代編は1回、それぞれ実施した。

本稿は、その「えどはくでおさらい！」展について報告をするものである。展覧会開催にあたり、教科書をもとにどのように展示構成を組み立て、館蔵資料でどのように展開したのか、そして展示に際してどのような工夫をしたか等、本展覧会の全容を紹介し、今後の展開の一助とするものである。

1. 展覧会のタイトルおよび会期等

前述のとおり、本展覧会は3回にわけて開催した。ここでは、各回の会期、観覧者数などを確認しておく。

- ・「えどはくでおさらい！江戸時代 ～教科書で見たあの人、この絵～」

会期：2009年（平成21）2月24日～3月22日（24日間）

観覧者数：19,702人（1日平均：821人）

- ・ 展示担当：阿部由紀洋・丸山はるか

- ・「えどはくでおさらい！江戸時代 ～教科書で見たあの人、この絵～」

会期：2009年（平成21）10月6日～11月29日（48日間）

観覧者数：46,137人（1日平均：961人）

展示担当：阿部由紀洋・齋藤優美

- ・「えどはくでおさらい！明治・大正時代 ～教科書で見たあの人、この絵～」

会期：2010年（平成22）2月16日～3月28日（36日間）

観覧者数：32,958人（1日平均：916人）

展示担当：齋藤優美・小山周子

メインタイトルである「えどはくでおさらい」は、1回目の江戸編を開催するにあたり、この1年間で学習したことを当館でおさらいしてほしい、というねらいから名付けた。また、いずれも「教科書で見た…」というサブタイトルをつけた。この展覧会が、教科書に基づいていることを印象づけるためである。同時に、授業で学んだ人物に関する資料が見られる、あるいは教科書に載っていた絵が見られる、それならば見てみようか、という来館の動機づけをも考慮したものである。

2. 展覧会開催にむけて

開催にむけての第1歩として、江戸編ならびに近代編双方とも、教科書の記載内容を検討することから始めた。江戸編では、東京都内の小学校で利用されている教科書のうち、採用数の多い方から5冊の教科書を手し、掲載内容を検討した。あわせて、「小学校学習指導要領」（平成10年12月告示、15年12

月一部改正）の社会科の項目を確認した。また近代編では、小学校で使用されている教科書のほかに、中学校の歴史の教科書の記載内容も確認した。

さて、「小学校学習指導要領」では、第6学年の歴史学習の目標として、「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。」としている。この目標をふまえ、指導すべき内容を以下のように掲げている。ここでは、江戸編・近代編に関連するものについて記載する。

- ・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について調べ、戦国の世が統一されたことが分かること。
- ・江戸幕府の始まり、大名行列、鎖国、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、身分制度が確立し武士による政治が安定したことや町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること。
- ・黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること。
- ・大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。

そして、これらの項目を指導する上で、「小学校学習指導要領」では、「例えば」と断った上で、次のような人物を取り上げるよう列記している。全40人の名前が挙がっているが、こちらも、江戸編・近代編に関わる人物名のみを紹介する。

- | | | | | |
|-----------|--------|--------|-------|---------|
| ・織田信長 | ・豊臣秀吉 | ・徳川家康 | ・徳川家光 | ・近松門左衛門 |
| ・歌川(安藤)広重 | ・本居宣長 | ・杉田玄白 | ・伊能忠敬 | ・ペリー |
| ・勝海舟 | ・西郷隆盛 | ・大久保利通 | ・木戸孝允 | ・明治天皇 |
| ・福沢諭吉 | ・大隈重信 | ・板垣退助 | ・伊藤博文 | ・陸奥宗光 |
| ・東郷平八郎 | ・小村寿太郎 | ・野口英世 | | |

これらのことを確認した上で、小学校で使用されている教科書を確認してみると、やはり要所で歴史上の人物が肖像入りで紹介され、それらの人物の業績をもとに、日本の歴史が語られている。このことから、今回の企画展では、人物を画像入りで紹介しながら展示を展開していく必要があると認識した。

3. 資料の選定

(1) 肖像画

教科書に掲載されている画像は、誰もが一度は目にしたことのある、あるいはその人物を紹介するにはその画像しかない、といったものであり、当然、当館所蔵のものではない。その上、当館の常設展示では、人物を取り上げた展示をほとんど行っていないため、それらの人物画像が、たとえ教科書に載っているものとは違うものでも、はたしてどれだけ集まるのか、まったく見当がつかなかった。

この問題を解決したのが、学校教育の現場で用いられた「掛け図」である。当館には、明治～大正時

代に作られた掛け図が所蔵されており、教科書に掲載されている画像と同じものが、より扱いやすい大きさにそろっていた。江戸編では、これら掛け図を中心に用い、関係する資料を展示することで、全体を構成することができた(写真1)。なお、近代編では、これら掛け図のほかに肖像写真を入手し、パネル化して人物紹介を行った。



【写真1】

(2) 常設展・特別展との調整

教科書をベースにしているこの展覧会では、展示する資料も、教科書に掲載されているもの、あるいはそれに代わる、一目見てもすぐそれと分かる資料を展示したいところである。しかし、そのような資料は、すでに常設展で使用されている、あるいは使用の予定が入っているものが多くあった。また常設展のみではなく、特別展で使用され、場合によっては他館へ巡回中といったものまであり、やむなく写真パネルで対応せざるを得ないものもあった。さらに、特に錦絵などは、長らく常設展などで使用しすぎて、使用自体が休止になっているものもあり、思うに任せないところがあった。

(3) さまざまな複製資料

前述のように、やむを得ない理由で資料が利用できなかった一方で、開館以来製作をしてきた複製資料が大いに役立った。当館には、常設展で使用するために製作されたもの、あるいは特別展で製作されたものなど、多種多様な複製資料が存在する。それらの中には教科書に掲載されているものもあり、非常に有用な存在であった。できれば本物を見せたいところではあるが、形状や質感を忠実に再現しているこれら複製資料でも、十分説得力があったものと思われる。

4. 展示手法の工夫

「えどはくでおさらい！」展は、観覧者のターゲットを小学生および中学生としていたので、展示に際してはできる限りわかりやすく、をモットーに取り組んだ。ここでは、それらの一例を示したい。

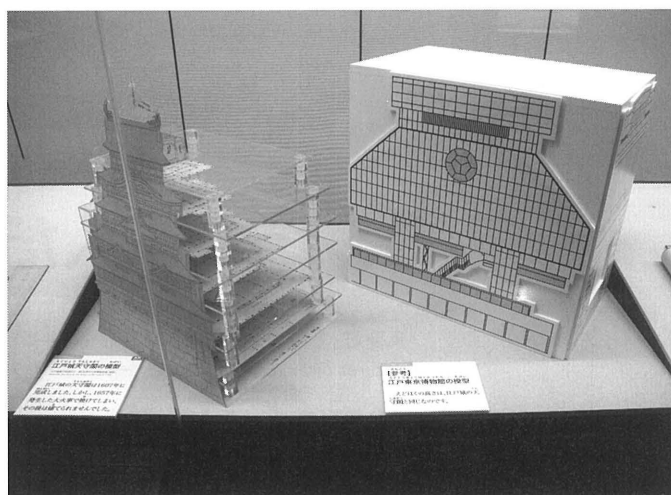
(1) より実感できる展示の工夫

江戸編では、江戸城天守の起こし絵「江戸御殿守絵図百分一割(弘前市立図書館原蔵)」を展示した。その際、天守の高さを実感してもらうために、天守と同じ高さという当館の模型を並べて展示した(写真2)。模型は、資料と高さがそろっていればよしとしたため、かなりデフォルメしたものを製作した。

また、伊能忠敬を取り上げたコーナーの近くに、自分の歩幅を確かめることができるマットを作製し敷いた（写真3）。自分の歩幅を実感して、いろいろなところを測ってみて欲しいという思いから設置したものであるが、こちらは残念ながらあまりそのねらいが理解してもらえず、格好の遊び道具と化してしまった。

（2）キャプションをわかりやすく

資料解説用のキャプションは、常設展仕様（黒地・白文字）ではなく、白地に黒い文字で作製した。また、解説文の文字数は極力少なくするとともに、文字は可能な限り大きくすることを心がけた。さらに、タイトルは展示資料名をそのまま用いることを避け、どのような資料なのかが一目で分かるよう工夫した（資料1、および写真4）。ターゲットが小・中学生ということでこのような方針で作製したのだが、小・中学生に限らず広く支持を得られたのは意外であった。



【写真2】



【写真3】

（3）参加型の展示

今回の企画展では、観覧した小・中学生を対象に、ワークシートを作成した（資料2）。設問は、基本的にキャプションを読めばわかるものにした。ワークシートの答え合わせは、案内スタッフが常駐しているカウンターに解答を記入したワークシートを設置し、対応できるようにした。このほか、江戸編では「江戸名所 はんじもの」を2枚、B0サイズにパネル化し、判じ絵に挑戦してもらった。パネルの近くに解答用紙を配置し、答え合わせをしながらでも楽しめるよう配慮した。

（4）当館制作映像の利用

近代編では、展示会場出口にプラズマディスプレイを設置し、当館制作の映像を2作品（「鉄道の発展と都市の広がり」「歴史を語る建造物1 開化の西洋館」）を放映した。映像作品を使用することによって展示内容を補完するとともに、より理解を深める工夫とした。

210mm

3. 江戸幕府の安定へ

ヒラギノ角ゴ Pro W6 / 50pt

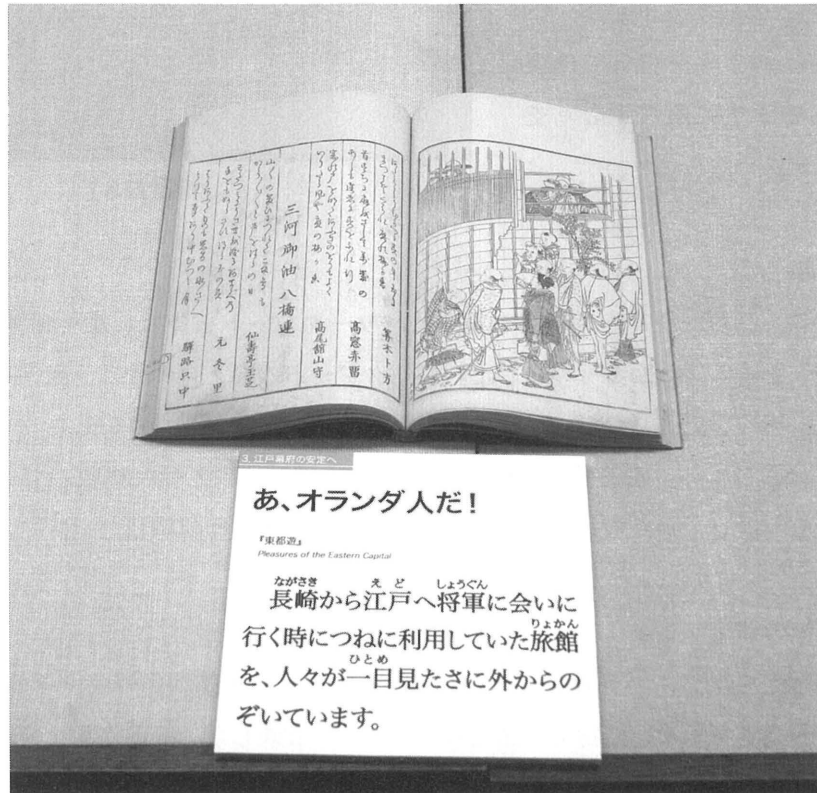
あ、オランダ人だ！

『東都遊』 ヒラギノ角ゴ Pro W3 / 18pt
Pleasures of the Eastern Capital ヒラギノ角ゴ Pro W3 / 14pt

ながさき えど しょうぐん
 長崎から江戸へ将軍に会いに
 行く時につねに利用していた旅館りょかん
 を、人々が一目見たさに外からの
ひとめ
 ぞいでいます。

(本文) ヒラギノ角ゴ Pro W3 / 40pt
 (ルビ) ヒラギノ角ゴ Pro W3 / 20pt

【資料1】



【写真4】

【資料2】

1 江戸時代になる前

- 豊臣秀吉が全国の金山に作らせた金塊「太閤分銅金」。ほぼ純金ですが、重さは何グラムあるでしょうか？ (375 グラム)
- 「太閤分銅金」の形、どこかで見たとおぼえがありませんか？実は、地図の中にあらわされている「地図記号」に見られます。さて、何を表す記号でしょうか？ (④)
 - ① 学校 ② 警察署 ③ 工場 ④ 銀行 ⑤ 都道府県庁
- 徳川家康が江戸にやってくる前に江戸に城をつくった「おおたどうかん」。名前を漢字で書いてみよう！ (太田道灌)

2 江戸時代の始まり

- 徳川家康は、現在の何県で生まれた人でしょうか？ (愛知 県)
- 江戸東京博物館は高さ62.2メートル、7階建ての建物です。では、それと同じ高さの「江戸城天守閣」は何階建てでしょうか？模型を見てたしかめてみましょう！
【注意！】一番下は階数に入りません。 (6 階)

3 江戸幕府の安定へ

- 徳川家光が「征夷大将軍」に命じられたのは、何年のことでしょうか？ (1623 年)
- 江戸時代、外国との交流は「中国」と「阿蘭陀」だけでした。さて、「阿蘭陀」はどこ国でしょうか？ (オランダ)
- 「中国」と「阿蘭陀」のほかに、「琉球」と「琉球」の人びとが、將軍にあいざつにきていました。さて、「琉球」は今の何県でしょうか？ (沖縄 県)

4 江戸時代の町・人びと

- 「土」のコーナーにある「ひまつぶし？」の作品には、多くの人びとがえがかれています。さて、いつの風景をえがいたものでしょうか？ (②)
 - ① 大みそか ② 正月 ③ お盆 ④ 將軍のたんじょう日
- 「商」のコーナーに、屋台が3つえがかれています。何を売っているのでしょうか？
右から左に「天麩羅」と書かれています。何を売っているのでしょうか？ (てんぷら)
- 「町」のようすを紹介しているコーナーでは、日本橋のほかにあと2つの町をえがいた作品を展示しています。どこどこでしょうか？ (下谷広小路) と (両国)

5 ささまざまな学問・成熟する文化

- 寺子屋へ入門するとき、筆記用具はもちろんです。もう1つ用意しなければならぬものがあります。それは何だったでしょうか？ (机)
- 本居宣長が書いた「古事記伝」。全部で何冊あるでしょうか？ (44 冊)
- 伊能忠敬が測量に使った道具の中で、四角いハコに車がついたものがあります。なんとこの道具を何と呼ぶか？漢字とそのヨミを書きましょう。 (量程車)

6 江戸幕府のおわり

- 黒船のついでに日本にやってきたペリー。当時の人びとは、「ペリー」の名前をどう書いてでしょうか？ (ペリリ)
- 江戸城の近くで暗殺事件が発生。その暗殺された人は、なんとという名前の人でしたでしょうか？ (井伊直弼)
- 勝海舟は、日記をつけていました。さて、いつからいつで、何年間になるでしょうか？ (1862 年) ~ (1898 年) で (36 年間)

5. 広報

本展覧会を開催するにあたり、ポスターならびにチラシを作製し、都内博物館・美術館・図書館などのほか、都内小・中学校へ発送し、PRを図った。また、当館ウェブサイトへ情報を掲載し、より広く展覧会をアピールした。各展覧会のポスター・チラシの製作枚数は、ポスターがB1サイズで120枚、B2サイズで2,910枚（うち、発送用に折りたたんだものが2,810枚）、A4サイズのチラシ（表4色、裏1色）が90,000枚である。

6. 「江戸編」「近代編」実施報告

さて、ここからは江戸編ならびに近代編それぞれの展覧会について、どのような内容で開催されたのか、くわしく報告していきたい。

（1）江戸編

① 展示項目の設定

江戸編の対象となる部分について、教科書にはどのような項目が挙げられ、どのような画像が使用されているのか。前述のとおり取り寄せた教科書を参考にし、メモを作成するところから始めた（資料3）。これをもとに、展示項目を以下のとおり設定した。また、各項目で取り上げた人物や事項などもあわせて記載する。

- ・第一章 江戸時代になる前

織田信長 豊臣秀吉 太田道灌

- ・第二章 江戸時代のはじまり

徳川家康／江戸城の様子

- ・第三章 江戸幕府の安定へ

徳川家光／参勤交代 海外との交流

- ・第四章 江戸時代の町・人びと ※2回目は「江戸時代の人びと」

士農工商 町の様子 ※2回目は、「町の様子」ではなく「リサイクル」とした。

- ・第五章 新しい学問・成熟する文化

杉田玄白 本居宣長 伊能忠敬 歌川広重／湯島聖堂・寺子屋 歌舞伎

- ・第六章 江戸時代のおわり

ペリー 木戸孝允 坂本龍馬 大久保利通 西郷隆盛 徳川慶喜 勝海舟／黒船 大政奉還

最初の「江戸時代になる前」では、教科書では織田信長・豊臣秀吉の紹介がほとんどであるが、当館には残念ながら関連資料がほとんどない。そこで江戸時代以前の江戸の紹介、ということで、教科書には記載されない太田道灌を取り上げることとした。同様に、「小学校学習指導要領」では名前の挙がっている近松門左衛門についても、関連資料がないため割愛した。逆に、「指導要領」では名前が挙げら

【資料3】

※江戸幕府を開いた徳川家康

- ・生い立ち
- ・1603年、征夷大將軍に
- ・関ヶ原の合戦
- ・江戸のまちづくり、江戸城の拡張
(掲載画像) 家康肖像画
江戸城復元図
江戸図屏風

※世界で活躍した人物に目を向けよう

- ・マルコ・ポーロ、マゼラン

※世界遺産を調べてみよう

- ・江戸時代に交流のあった国の世界遺産
日光東照宮、故宮、宗廟（韓国）
- ・仏教に関する世界遺産
法隆寺、石窟庵（韓国）、ボロブドゥール寺院

※大名行列

- ・行列イラスト、妻籠宿
- ・金沢藩の参勤交代の様子

※幕府と大名（徳川家光）

- ・「生まれながらの將軍」
- ・武家諸法度
- ・参勤交代、かかった日数
- ・親藩、譜代、外様大名の配置
- ・宣教師の活動
- ・鎖国、「絵ふみ」、島原の乱
(掲載画像) 家光肖像画
「將軍にあいさつする大名たち」
踏み絵とその様子

※鎖国下の日本

- ・朝鮮通信使、琉球使節、アイヌ、出島

※江戸時代の道を調べよう

- ・飛脚、北前船、大井川の渡し、宿場町（馬籠宿）、箱根関所

※地域の道を調べよう

- ・八王子市（国道20号線「甲州街道」、千人同心の碑、八王子市郷土資料館、一里塚、小仏の関跡）

※身分ごとに異なる暮らし

- ・年貢を納める農民（イラスト）、町人の暮らし（イラスト）
- ・農民に対するおふれ書き
- ・五人組
- ・荒れ地の開発、用具の開発、古くから伝わる芸能をさかんに

※にぎわう都市、花開く文化

- ・「天下の台所」「將軍のおひざもと」
- ・歌舞伎、人形芝居、浮世絵
(掲載画像) 近松門左衛門、歌川広重各肖像画
「しばい小屋で歌舞伎を楽しむ人々」
「江戸の呉服屋」
「東海道五十三次」（広重の絵&ゴッホの絵）
写楽の作品

※力をつける農民

- ・新田開発、用水の整備
- ・備中ぐわ、千歯こき、とうみ、肥料の工夫
- ・綿花、なたね、茶、みかんなど商品作物
- ・百姓一揆、「洗染一揆」、打ちこわし
(掲載画像) 「旅を楽しむ人々」
一揆の連判状
大塩平八郎

※玄白ら、「解体新書」を出版する・新しい学問と教育のひろがり

- ・蘭学（杉田玄白、前野良沢）、「解体新書」、「蘭学事始」
(掲載画像) 杉田玄白、本居宣長、高野長英、伊能忠敬各肖像
道中図、伊能図、測量関連資料
寺子屋の様子、藩校「弘道館」

※その他

- ・リサイクル、環境にやさしい都市、子供が演じる歌舞伎、食でつながる北海道と沖縄

※開国から世界の中へ

- ・ペリー、黒船
- ・日米和親条約、日米修好通商条約
(掲載画像) ペリー肖像
来航時の錦絵
THE ILLUSTRATED LONDON NEWS
横浜海岸通の図、神奈川横浜新海港図
咸臨丸

※江戸幕府たおれる

- ・吉田松陰、松下村塾
- ・井伊直弼（安政の大獄、桜田門外の変）
- ・生麦事件
- ・高杉晋作、奇兵隊
- ・薩英戦争
- ・坂本龍馬、薩長同盟
- ・大政奉還
- ・鳥羽・伏見の戦い
- ・勝海舟、西郷隆盛
(掲載画像) 黒船来航を伝える瓦版
占領された長州藩の砲台（写真）
二条城大広間
吉田松陰、木戸孝允、高杉晋作、坂本龍馬、西郷隆盛、大久保利通、
勝海舟、明治天皇の各肖像

れていない徳川慶喜については、歴代最後の将軍として取り上げることとした。また、多くの教科書で紹介されている坂本龍馬も、肖像だけではあるが紹介した。さらに、1回目では「江戸時代の町・人びと」として、江戸の町の様子を紹介したが、2回目は「江戸時代の人びと」とし、町の代わりに「リサイクル」をテーマに展示した。これは、1回目開催中に、江戸時代のリサイクルについて展示して欲しいという、ご観覧いただいたお客様の声を反映したものである。

② 展示資料と会場レイアウト

資料の選定にあたって、肖像画の問題、あるいは常設展・特別展等との調整ということがあったことはすでに述べた。ここではそれ以外の、資料選定作業と会場レイアウト作りなどについて述べてみたい。

各テーマについてどのような資料を展示するのがふさわしいか、まず参考にしたのが、開館以来開催してきた特別展の図録であった。また、当館が編集・発行した出版物にも目をとおり、館蔵資料についての情報収集を行った。そこでピックアップされた資料については、資料検索システムで近年の使用状況を確認し、使用可能かどうか検証した。それ以外の資料については、考えつく限りのキーワードを入力しては可能性のありそうな資料をピックアップし、収蔵庫へ現物を確認にいく、という作業の繰り返しであった。そして、展示できそうな資料については、会場レイアウト図の作成のためにあらためて採寸をした。このようにして確定したのが資料4 (P.99～103) の展示リストと、資料5 (P.110) の会場レイアウト図である。

③ 展示用造作物

展覧会を開催するにあたり、前述の当館の模型や床置き歩幅測定用のマットのほか、いくつか展示用の什器等を製作した。

- ・肖像画展示用の衝立

W:600mm×H:1,600mm×D:50mm 木製 スチールベース (W:600mm×D:500mm) 付

※既存のマグネット貼りができるボードを併用して展示。

- ・江戸城天守の起こし絵「江戸御殿守絵図百分一割 (弘前市立図書館原蔵)」用アクリル支持具
- ・地図 (伊能図) 展示用パネル

W:2,700mm×D:1,800mm×H:50mm 3分割ボルトジョイント 天面フェルト貼りにW:2,700mm×D:1,800mm×t:5mm透明アクリルビス留め

江戸編1回目開催時、上記地図を展示するにあたり、想定していたケースよりも資料の方がやや大きいことがわかり、やむを得ず地図の端を、折り目のついているところで一部折り込んで展示せざるを得なかった。そのため、2回目では、より完全に展示できるよう、新規に什器等を製作した。なお、肖像画展示用の衝立は、近代編でも使用した。

④ 関連事業の実施

展覧会の開催中に、関連事業を次頁のとおり実施した。カッコ内の数字は、各回の参加者数である。

江戸編 1 回目

- ・えどはくカルチャー みどころ講座
- ・ミュージアムトーク 全2回（36名／30名）

江戸編 2 回目

- ・ミュージアムトーク 全4回（44名／23名／27名／21名）

⑤ 展覧会の評価

江戸編 1 回目では、展示をご覧になられた方々へのアンケートを実施した。内容は資料 6 のとおりである。ここでは、その中から設問 5 の集計結果をとりあげ、どのような評価が得られたかを見てみたい。

・テーマについて

大変良い：43% 良い：23% 普通：11% あまり良くない：2% 良くない：5% 無回答：16%

・展示品について

大変良い：49% 良い：24% 普通：9% あまり良くない：1% 良くない：6% 無回答：11%

・展示の見やすさについて

大変良い：41% 良い：21% 普通：16% あまり良くない：4% 良くない：6% 無回答：12%

・解説の内容

大変良い：34% 良い：21% 普通：22% あまり良くない：4% 良くない：6% 無回答：13%

・解説の見やすさ

大変良い：40% 良い：27% 普通：13% あまり良くない：1% 良くない：7% 無回答：12%

「解説の内容」を除いては、大変良い・良いが60%を越える数字になっており、概ね好評であったのではないと思われる。また、設問 7 の自由意見欄を確認しても、好意的なご意見を多くいただき、良い評価がいただけたものと思われる。その一方で、よりわかりやすく、をモットーに作成した解説文については、少々物足りなさを感じた方々もいらっしゃったようである。

（2）近代編

① 展覧会の概要

近代編は、当初「えどはくでおさらい！近代と暮らし」というテーマが設定されていた。しかし、教科書において“近代”の占める割合が多く、また、教科書の記述が生活史だけではなく事件・人物に強く及んでいることから、テーマを再設定する必要が生じた。まず、時代を限定するにあたり、江戸編の続編であること、館蔵資料の活用が十分に可能であることから、明治維新から関東大震災までの、明治・大正時代を選んだ。そして内容については、館蔵資料を生かし、且つ常設展示と重ならない当館らしい展示を目指すため、東京を舞台としたできごとを特にピックアップした。この点については、後ほど詳述する。

展示方法・キャプションおよびワークシート等の仕様については、江戸編の手法を継承・活用し、シ

【資料6】

企画展 「えどはくでおさらい!江戸時代」 アンケート

記入日 月 日 ()

本日はご観覧ありがとうございました。今後の展覧会の参考にしますので、アンケートにご協力ください。

1 あてはまるところに○をつけてください。

・性別 ①男性 ②女性

・年齢 ①小学5年生以下 ②小学6年生 ③中学生 ④16~24歳
⑤25~34歳 ⑥35~44歳 ⑦45~54歳 ⑧55~64歳
⑨65歳以上

・住所 ①東京都 (23区内) ②東京都 (23区外)
③関東地方 (神奈川県 ・ 千葉県 ・ 埼玉県 ・ 茨城県 ・ 栃木県 ・ 群馬県)
④その他の道府県 () ⑤外国 ()

2 「えどはくでおさらい!江戸時代」のことを、何で知りましたか? 当てはまるところに、いくつでも○をおつけください。

① 知人から聞いて (学校の先生 ・ 家族 ・ 職場の同僚 ・ 友人)

② 江戸東京博物館のなかで (看板 ・ ポスター ・ チラシ ・ 映像 / その他: _____)

③ ポスター (駅: _____ 線 _____ 駅 / 博物館・美術館: _____ 館
/ チケット販売所: _____ / その他の場所: _____)

④ チラシ (入手した場所: _____)

⑤ テレビ (番組名: _____)

⑥ ラジオ (番組名: _____)

⑦ 新聞 (朝日 ・ 読売 ・ 毎日 ・ 日経 ・ 産経 ・ 東京 / その他: _____)

⑧ 雑誌 (江戸東京博物館ニュース ・ その他誌名: _____)

⑨ ホームページ (江戸東京博物館 ・ その他 _____)

⑩ その他 (_____)

3 江戸東京博物館の展覧会をご覧になったのは何回目ですか? あてはまるところ、1つだけ○を付けてください。

①初めて ②2回目 ③3回目以上 (回数: _____ 回)

4 今回は「えどはくでおさらい!江戸時代」のほかにもどの施設をご利用になりましたか?

①常設展だけ ②1階特別展 ③図書室 ④映像ライブラリー ⑤映像ホール ⑥ホール、会議室、学習室

5 「えどはくでおさらい!江戸時代」はいかがでしたか? それぞれあてはまるところに1つだけ○をおつけください。

1) テーマについて ①たいへん良い ②良い ③ふつう ④あまり良くない ⑤良くない

2) 展示について

・展示品 ①たいへん良い ②良い ③ふつう ④あまり良くない ⑤良くない

・展示の見やすさ ①たいへん良い ②良い ③ふつう ④あまり良くない ⑤良くない

・解説の内容 ①たいへん良い ②良い ③ふつう ④あまり良くない ⑤良くない

・解説の見やすさ ①たいへん良い ②良い ③ふつう ④あまり良くない ⑤良くない

6 「えどはくでおさらい!江戸時代」で、特に興味のあったところはどこですか?

7 その他、ご感想・お気づきの点などがございましたら、お聞かせください。

リーズものの展覧会であることを強調した。

② 江戸編と異なる点

基本的には江戸編の続編として、全体的に趣旨や手法を継承しているものの、近代教育や近年の傾向から、近代編独自の設定も必要となった。

まず、展覧会のメインターゲットとして、小学生だけではなく中学生も加えたことである。江戸編は、初めて習う歴史学習の復習を意識し、小学6年生に焦点を置いたが、近代編の場合、教科書によって近代の比重の差異が目立ったため、中学生の歴史教科書も参考にした。例えば小学校の教科書の中には、難しい用語を避け、時代の雰囲気を知ることのみを目指すものもあったが、そのまま採用したのでは展覧会としては輪郭がぼやけるおそれがあった。そこで、中学校の歴史学習も趣旨に加え、中学校の教科書に出てくることばを用語の境界線とした。ただし、内容が難しくならないように、展示構成自体は小学校の教科書に則って構成した。

もう一つの違いは、資料借用である。「えどはくで〜」と冠されているとおり、当館における展示、そして館蔵資料による展示が前提となる。しかし、当館には個人や政治史の資料が少ないため、展示内容については検討が必要となった。近代の歴史教育の傾向として、国際社会における日本及び日本人を重視しているため、当館にない個人の資料については他館から借用することとした。国立国会図書館、東京大学藤森照信研究室、財団法人日本近代文学館から、歴史上の政治家・文化人（ジョサイア・コンドル、板垣退助、陸奥宗光、小村寿太郎、野口英世、与謝野晶子、平塚らいてう）の肖像画・写真をお借りし、パネルを製作した。

③ 展示構成と会場レイアウト

展示構成は、明治と大正に区切らず、明治維新・文明開化・自由民権運動・国際社会（条約改正と戦争）・産業の発達と民主主義の5つのテーマに分けた。さらに各テーマを3つの項目に分け、具体性を高めた。

・第一章 明治維新のはじまり

新しい政府の成立／富国強兵～強い国づくり～／殖産興業～豊かな国づくり～

・第二章 文明開化が花ひらく

変わる都市のようす／変わる人びとの暮らし／新しい考えの広まり

・第三章 広がる自由民権運動

士族の反乱／自由民権運動／帝国議会の開設

・第四章 国際社会への船出

条約改正の道のり／日清戦争／日露戦争と東京

・第五章 民主主義の時代へ

工業の発展と暮らしの向上／平等な社会を目指して／関東大震災と復興

展示構成に基づき、第二企画展示室における展示のレイアウトを検討した(資料7・P.111)。レイアウト・資料選定・展示作業については、第一章～第三章を齋藤優美、第四章～第五章を小山周子が担当した。

④ 資料の選定

展示資料は資料8(P.104～109)のとおりである。個々の資料の採用理由は省略するが、資料選定の条件は、以下のように設定した。

江戸編における展示は、人物展示(肖像画・パネル)、事件や関連資料展示、体験展示に分かれる。人物展示における教育掛図の使用は、過去の教材を展示した点で来館者の関心を深める効果があったため、近代編でも使用した。

近代編独自の資料選定としては、まず、展示対象の地域設定がある。近代日本を躍進させた産業や重大な事件は、必ずしも首都東京を舞台にしていない。教科書に出てくる事例も、富岡製糸場や八幡製鉄所など地方や、条約改正・戦争など国外に及んでいる。学習指導要領においても国際化を重視する文言が並ぶ。この点については、資料的な限界だけではなく、常設展示との関連もふまえ、東京における事象あるいは東京から見た世界をコンセプトに、内容と資料を検討することにした。

例えば、官営模範工場の展示では、千住製絨所や石川島造船所など東京に存在した工場を取り上げ、東京における軽・重工業を示した。日露戦争については、記念絵葉書を展示することにより、当時の東京の流行及び東京から見た戦争を示した。これらは必ずしも教科書に忠実な展示資料ではないが、当館における教育普及展示の意義を考え、採用した。

本展示会の資料は、常設展示ではあまり展示されないものが多く、普段来館者の目に触れることの少ない資料を公開する機会にもなった。

⑤ 映像資料の活用

前述のとおり、近代編では展示室出口付近の常設展示室通路において、関連映像2作品を上映した(写真5)。動画による理解の深化が第一の目的だが、館蔵映像の常設展示室内上映についての試みでもあった。現在、館蔵映像は、7階の映像ライブラリーと1階映像ホールで観賞することができるが、常設展示との密な連携の可能性が検討されている。そこで、映像ライブラリー及び映像ホールの案内やチラシを設置し、常設展示室と映像関連施設との結びつきを深める試みとした。

なお、今回は若い世代より中高年層の利用が目立ち、多いときには15人程度のベンチが埋ま



【写真5】

り、立ったまま観賞している人も現れた。展示内容を更に掘り下げたい来館者にとっては、映像資料は興味深いツールであることが示されたといえる。

⑥ 関連事業の実施

展覧会の開催中に、関連事業を下記のとおり実施した。カッコ内の数字は、各回の参加者数。

ミュージアムトーク 全2回（23名／28名）

⑦ 展覧会の評価

本展覧会では、アンケートは実施しなかったが、教育関係を中心に各方面から感想が寄せられた。

まず、おさらい展の開催時期についてだが、江戸編・近代編ともに、実際の授業進行時期とはずれているという指摘があった。小学6年生は4月から歴史学習が始まり、3学期には公民の学習が始まるため、春休み期間の実施となった近代編は冬休みの頃だと最も「おさらい」に適した開催になる、というものである。

同じく小中学生の利用を前提に考えたとき、ワークシートというしかけは有効だが、問題の難易度は適正か、という声もあった。展覧会でワークシートを作成する際、まず「展示を見ないと分からない」ことを前提に問題を作成したが、現代の小学生にも分かりやすい問いを設定しなくてはならない、という指摘だった。

他方、実際の来館者は必ずしも小中学生中心ではなく、中高年層も厚かった。特に2度のミュージアムトークでは、学生は若干名に留まり、ほとんどが中高年層だった。子供の頃に受けた歴史授業への懐古、最近の指導内容との違いを楽しむ反応が目立った。趣旨としては現代の小中学生をメインターゲットにしつつ、こうした上位の年齢層も取り込むことのできる、質の高い展示内容と何らかの工夫・しかけを検討することも重要だろう。

おわりに

以上、企画展「えどはくでおさらい！」について述べてきた。この展覧会は、他の企画展以上に、教育普及の意味合いが強い。教科書に出てきたものを実物で見せよう、という本展のねらいは、博物館と来館者の相互交流を展覧会で実践する、新しい試みであった。前述のとおり、アンケート結果を見ても概ね好評であったことに加え、中には「歴史教育にこういった企画は不可欠だと思います。今後も同様の趣旨の展示が時折行われることを期待します。」というお声を頂戴したことは、この展覧会の試みが一定の成果を得た証ではないだろうか。「教科書で見た～」というサブタイトルは、今まさに勉強中の小・中学生を意識してつけたものであったが、それ以外の、幅広い年齢層にも受け入れられたようである。多くの方々が一度は手に取ったことがあるであろう「教科書」という言葉が、各年齢層に、それぞれの想いを思い起こさせたものであろうか。

また本展では、都内小・中学校宛に展覧会の案内を送り、広報に努めたが、「大変良い企画なのでもっ

と学校や教育機関に積極的に働きかけては。メディアにももっととりあげられるべき。」というお声がアンケートにあった。本展に限ったことではないが、展覧会広報の重要性を再認識するとともに、更なる工夫が必要であることを指摘していただいた一言である。

今回、江戸編・近代編それぞれをパッケージ化することができた。今後は、このパッケージをもとに開催できるわけだが、指導内容は一定期間で変更・見直しが発生する。そのため、その時々々の指導内容を把握し、展示内容に反映していく必要がある。また、開催時期についても、カリキュラムの進行に合わせたものにするのか、それとも修学旅行による来館が多い時期に設定するのか、検討が必要であろう。いずれにせよ、この3回の展覧会の開催が、博学連携のひとつの形を示すことができたのではないだろうか。

最後に、この展覧会がほぼ館蔵資料のみで開催することができた、当館の所蔵資料の懐の深さを実感した次第である。

【資料4】 企画展「えどはくでおさらい！江戸時代」展示リスト（1回目・2回目統合）

テーマ	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号	備考	
① 江戸時代になる前	織田信長	織田信長画像（三河長興寺所蔵）		1908年（明治41）	86975405		
	豊臣秀吉	豊臣秀吉画像（侯爵伊達宗徳所蔵）		1907年（明治40）	86975395		
	豊臣秀吉	豊臣秀吉禁制	豊臣秀吉／作成	1590年（天正18）	97200418		
	豊臣秀吉	太閤分銅金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	豊臣秀吉		99101197		
	太田道灌	【パネル】太田道灌		江戸時代中期	89900185		
	太田道灌	太田道灌からの手紙	太田道灌	15世紀後半	06000002	1回目のみ展示	
	太田道灌	太田道灌が江戸城を造った頃の地図		江戸時代後期	90204573		
	徳川家康	徳川家康	歴史科教授用参考掛図 第三輯 徳川家康画像		88203132		
	徳川家康	徳川家康からの手紙	徳川家康判物	徳川家康／作成	95200158		
	徳川家康	関ヶ原の戦いようす	関ヶ原合戦絵巻 下	1582年（天正10）	98200017	1回目は写真パネル	
② 江戸時代のはじまり	徳川家康	徳川家康のしるし	諸侯馬印・指物図のうち 御馬印（金の開き扇）	弘化年間（1844～48年）	95200029		
	徳川家康	徳川家康のしるし	諸侯馬印・指物図のうち 権現様（幟旗）	江戸時代	95200029		
	徳川家康	徳川家康を征夷大將軍に命じる	【複製】徳川家康宛征夷大將軍赤方官宣旨（日光東照宮原蔵）	江戸時代	95200001		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長大判金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1603年（慶長8年）	91900061		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長大判金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100629		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長長巻大判金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100630		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長小判金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100631		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長小判金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100633		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長一分金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100637		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長一分金（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100638		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	大黒袴丁銀（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1598年（慶長3）／初鑄	99100645		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長丁銀（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100646		
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長豆板銀（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100651	2回目のみ展示	
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長豆板銀（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1601年（慶長6）／初鑄	99100652	2回目のみ展示	
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長通宝（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1606年（慶長11）／初鑄	99100662	2回目のみ展示	
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	慶長通宝（三菱東京UFJ銀行蔵 江戸東京博物館寄託）	1606年（慶長12）／初鑄	99100663	2回目のみ展示	
	徳川家康	徳川家康がつくらせられたお金	吾妻鏡	鎌倉幕府／編 林道春／書	1661年（寛文元）	89201694～1698 89201709～1719	1回目は89201694～1719すべてで展示
	徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	吾妻鏡		85975327		
	徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	徳川家康画像				
	徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	徳川家康坐像（芝東照宮原蔵）	徳川家康／制作	1601年（慶長6）	90900006	
徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	武州豊島郡江戸庄図		1833年（天保4）	86200967		
徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	【パネル】寛永期の武家地				常設展示用パネル	
徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	江戸城の配置図		[江戸後期]	95201481		
徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	江戸城天守閣の模型			97900019		
徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	【参考】江戸東京博物館の模型					
徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	江戸城の大広間			86213141	1回目のみ展示	
徳川家康	徳川家康の愛読書『吾妻鏡』	江戸城の大広間			96200001	2回目のみ展示	
徳川家光	徳川家光	徳川家光画像（公爵徳川家達氏所蔵）	福王雪岑／画	江戸時代中期	86975444		
徳川家光	徳川家光を征夷大將軍に命じる	【複製】徳川家光宛征夷大將軍赤方官宣旨（栃木県輪王寺原蔵）	小槻孝亮／発給	1623年（元和9）	91900074		
徳川家光	徳川家光からの手紙	徳川家光黒印状	徳川家光／作成	1623～50年（元和9～慶安3）	90204561		
徳川家光	大名に対する決まりの制定	武家諸法度（対馬・宗家伝来）		1635年（寛永12）	95202981		
徳川家光	大名行列の様子	御入府行列附（肥後・熊本藩）		[江戸時代]	96200132～33		

テーマ	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号	備考	
③ 江戸幕府の安定へ	【パネル】参勤交代の経路と日程					常設展示用パネル	
	農民に対するきまり	慶安御触書			90370091 90374053	1 回のみ展示	
	浮世絵に描かれた大名行列	(名所江戸百景) 紀乃国坂赤坂溜池遠景 雷巖三十六景 徒千住花街眺望ノ不二	歌川広重/画 葛飾北斎/画	1857年(安政4) 1831~33年(天保2~4)	83200086 92202780	1 回のみ展示	
	大名行列の様子 その2	旧諸侯江戸入行列之図 (会期中展示替え) 【複製】参府行列図(下巻) (徳川美術館蔵) (会期中展示替え)		安達吟光/画 小田切春江/画	1889年(明治22) [江戸時代]	91200197 89900187	2 回のみ展示
	帰れると思ったのに!	久留米藩士 江戸勤番長屋巻(粉本)		戸田熊次郎/序 狩野素川(勝波方信 渡雲斎)/画	1840年(天保11)頃	86200129	2 回目は複製 (91900059)を展示
	キリスト教の禁止を伝える木札	高札(キリシタン札)			1682年(天和2)	93340657	
	紙にえがかれた神	紙踏絵			1658年(万治元)	95202947	
	キリスタンはいません	切支丹宗門踏絵御改ニ付家内帳		横尾村組/作成	1776年(安永5)	90371387	
	出島がえがかれた地図	肥前長崎図			江戸期	90200538	
	中国の船とオランダの船	[長崎湾唐船蘭船停泊図]			[江戸時代末期]	91220008	
	出島のように	The island of Decima (出島) (The Illustrated London News [1863年])			1863年(文久3)	96202059	1 回のみ展示
	出島のように	ティツイング日本風俗誌2 (蘭訳)		イザーク・ティツイ イノング/著	1824年(文政7)	91200706	2 回のみ展示
	出島のように	小学教育掛図第二輯第十七號 長崎の貿易場 (国史尋六第三十八課「徳川家光」)		教育資料会/編		89001805	
	ヨーロッパは今	阿蘭陀風説書		ゲンスベルト・ ヘンミー/著 石橋助左衛門、 名村多吉郎/訳	1797年(寛政9)	96201441	2 回目は 写真パネル
	あ、オランダ人だ!	『東都遊』		浅草市人/撰 葛飾北斎/画	1799年(寛政11)	87201158	
琉球の島々	中山国使略		富岡仙蔵/校正	1850年(嘉永3)	91220719	2 回のみ展示	
琉球の人々の行列	御免琉球人行列附			1842年(天保13)	91221199~201		
琉球の人々の行列 その2	琉球人行列図		溪斎英泉/画	寛政年間(1789~1801年)	91222036~38		
琉球の人々、江戸城に入る	泥絵 琉球使節江戸城西の丸登城図			江戸後期	97200006	1 回のみ展示	
朝鮮の人々の行列	朝鮮通信使行列図版画			江戸後期	90000001		
朝鮮の人々の行列 その2	【複製】朝鮮通信使來朝図(神戸市立博物館蔵)		羽川藤永/画	[寛延年間(1748~51年)]	91900143		
練習の成果を!	千代田之御表			1897年(明治30)	87201393		
ひまつぶし?	[江戸城正月登城図 下絵 門前の賑い]		橋本周延/画	明治時代(1868~1912年)	91005982		
身分にあった家造り	[諸家格儀式等書上] (要鑑辨志年行事)			江戸時代後期	91211843		
農家の一年をえがいた巻物	大和耕作図			江戸中期	92200001		
農業の百科事典『成形成図説』	『成形成図説』 1、4、5、6、12、13		島津重豪/梓行 葛榮、白尾国桂/編	1804年(文化元)	89210751, 54, 55, 56, 62, 63	1 回のみ展示	
農具いろいろ	『成形成図説』 13		島津重豪/梓行 葛榮、白尾国桂/編	1804年(文化元)	89210763	2 回のみ展示	
田植えの様子	漫画百女		合川亭琢和/画	1814年(文化11)	87200171	2 回のみ展示	
外国人が見た農作業	アンペール「幕末日本図絵」挿絵		A・アンペール/著	1870年(明治3)以前	96200156, 0186	2 回のみ展示	
収穫したお米をおさめる	『再板 農業全書』巻1 (武蔵野文化協会蔵 江戸東京博物館寄託)		貝原好古/著	1787年(天明7)	02153446	2 回のみ展示	

テーマ	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号	備考
(工)	おけ職人	【複製】富嶽三十六景 尾州不二見原	葛飾北斎/画		83200475	
	材木問屋	【複製】富嶽三十六景 本所立川	葛飾北斎/画		90900162	1回目のみ展示
	たたみ職人	彩画職人部類	橋本江/画	1770年(明和7)	87200170	1回目のみ展示 2回目のみ展示
	木材を加工する人	近世職人絵巻	狩野壱川/画 (北尾政美/画)	1890年(明治23)	90207334	1回目のみ展示
	木材を加工する人たち	衣食住之内家職幼絵解之図 屋根下地・木舞掻き (会期中展示替え)	歌川国輝(2代)/画	明治時代(1868～1912年)	97201568	2回目のみ展示
	屋根と壁の下地をつくる人たち	衣食住之内家職幼絵解之図 左官の塗 (会期中展示替え)	歌川国輝(2代)/画	明治時代(1868～1912年)	97201573	2回目のみ展示
	壁に土をぬる人たち	衣食住之内家職幼絵解之図 瓦葺き (会期中展示替え)	歌川国輝(2代)/画	明治時代(1868～1912年)	97201570	2回目のみ展示
	瓦をふく人たち	衣食住之内家職幼絵解之図 建具屋 (会期中展示替え)	歌川国輝(2代)/画	明治時代(1868～1912年)	97201564	2回目のみ展示
	雨戸や障子、ふすまをつくる人たち	駿河町越後屋呉服店大浮絵	奥村政信/画	享保(1716～36年)末	89200002	
	(商)	【パネル】呉服屋の店内	『江戸名所図会』1	松濤軒斎藤長秋/著 長谷川雪旦/画	1834年(天保5)	90004855
	三井呉服店	近世職人絵巻	狩野壱川/画 (北尾政美/画)	1890年(明治23)	90207336	
	屋台いろいろ	『洋風日本風俗画帖』より		1866年(慶応2)以前	95201292	
	【パネル】さまざまな商売	洋風日本風俗画帖		1866年(慶応2)以前	95201292	
	さまざまな商売 その2	江戸職人歌合	石原正明/著	1808年(文化5)	87201139	1回目のみ展示
	古着屋と呉服屋	江戸名所之絵(江戸鳥瞰図)	銀形紹真/筆 野代柳湖/刻	1803年(享和3)	86200902	
(町)	鳥の目で見た江戸の町	東都名所 日本橋真景并二魚市全図	歌川広重/画	天保(1830～44年)期	90207421～23	
	日本橋の魚市	富嶽三十六景 江戸日本橋	葛飾北斎/画	1831～33年(天保2～4)	92202773	
	日本橋のにぎわい	【複製】名所江戸百景 下谷広小路	歌川広重/画		04002350	1回目のみ展示
	下谷広小路	名所江戸百景 両国橋大川また	歌川広重/画	1856年(安政3)	83200054	
	両国橋	オイレンブルク 東アジア遠征図録 3		1866年(慶応2)	94201339	
	江戸の町並み	日本橋鳥瞰図		1868年(明治元)	97200018	
	鳥の目で見た日本橋	『吾妻遊』(武蔵野文化協会蔵 江戸東京博物館寄託)	喜多川歌麿/画	1790年(寛政2)	02152676	
	建ち並ぶ古着屋	江戸職人歌合	石原正明/著	1808年(文化5)	87201139	
	古着屋のようす	絵本今様職人尽	四方歌垣、六樹園/詞	1841年(天保12)	87200172	
	なべやかまを修理する人	あづまの手ぶり	大西椿年/画	1829年(文政12)	87201461	
(リサイクル)	紙くずをひろい集める人	『柳髪新話 浮世床』二編 巻之上	式亭三馬/著 歌川国直/画	1812年(文化9)	92200985	
	紙くずを買い集める人	今様職人尽歌合 下	鑄酒屋大門 ほか/編 銀形紹真/画	1825年(文政8)	91220712	2回目のみ展示
	紙くずを買い集める人	浅草紙		1900年(明治33)	95004694	
	再生紙「浅草紙」	今様職人尽歌合 上	鑄酒屋大門 ほか/編 銀形紹真/画	1825年(文政8)	91220711	
	古いかさを買い集める人	『江戸名所図会』9	松濤軒斎藤長秋/著 長谷川雪旦/画	1834年(天保5)	90004863	
	鏡をみがく人	湯島聖堂図	櫻井雪絳/画	1799年(寛政11)以降	95201291	
	幕府の学校 湯島聖堂	歴史科教授用参考掛図第六輯 聖堂講釈の図		89001824～25		
	授業の風景	アンペール「幕末日本図絵」挿絵 寺小屋		1870年(明治3)以前	96200196	
	【パネル】外国人のみた寺小屋					

④ 江戸時代の町・人びと(2回目)は「江戸時代の人びと」

テーマ	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号	備考
⑤とまもまな字間・成熟する文化	寺子屋の風景 この子をよろしく願いました 女性の先生	『男重日記』 『江戸府内絵本風俗往来』下 繪本榮家種一	神田子三袋/著 菊池貴一郎	[1693年(元禄6)] 1905年(明治38)	91211318 89201873	1回目のみ展示
	寺子屋の風景	【複製】近世職人尽絵詞 上巻(東京国立博物館原蔵) 近世職人絵尽	銅形屋斎(北尾政美)/画 杏花園(太田南畝)/跋 狩野葛川/画 (北尾政美/画)	1790年(寛政2) 1804年(文化元)/跋 1890年(明治23)	90204157 90900096 90207334	2回目のみ展示 1回目 2回目
	杉田玄白	歴史科教授用参考掛図第十一輯 杉田玄白画像 【複製】芝蘭堂新元会図(早稲田大学図書館原蔵) 大槻家旧蔵	市川岳山/画	1794年(寛政6)	90900077	
	人の体内のイメージ図	『訓蒙図彙』人物・身體	中村楊齋/編 源三郎/画	1666年(寛文6)	90207762	
	解体新書	『解体新書』1~5	杉田玄白	1774年(安永3)	86200691, 90360901, 90365106~09	1回目
	蘭学事始	『蘭学事始』	杉田玄白/著	1869年(明治2)	88202872~73	
	本居宣長	歴史科教授用参考掛図 第三輯 本居宣長画像 『古事記伝』1~44	本居宣長/撰	1909年(明治49)	88203135	
	伊能忠敬	歴史科教授用参考掛図 第四輯 伊能忠敬画像 宮板実測日本地図のうち 畿内・東海・東山・北陸道 【複製】象限儀(小)(伊能忠敬記念館原蔵) 【複製】小方位盤(伊能忠敬記念館原蔵) 【複製】量程車(伊能忠敬記念館原蔵)	伊能忠敬/作成	1910年(明治43) 1867年(慶応3)	88203149 91221131 97900027 97900028 97900029	
	歌川広重	名所江戸百景 広重像 死絵 【複製】名所江戸百景 広重像 死絵 名所江戸百景 大はしあたけの夕たち 【複製】名所江戸百景 大はしあたけの夕たち	歌川国貞(初代)/画 歌川国貞(初代)/画 歌川広重/画 歌川広重/画	安政年間(1854~60年) 1857年(安政4)	83200121 04002459 83200053 04002395	1回目 2回目 1回目 2回目
		広重が使った旅の道具 脇さし たばこ入れ 旅枕 たもとおとし	脇差 煙草入れ 旅枕 たもとおとし	歌川広重/所用 歌川広重/所用 歌川広重/所用 歌川広重/所用	1852年(嘉永5) 19世紀前半 19世紀前半 19世紀前半	91212213 91212214 91212215 91212216
	遺言状(9月2日付) 上野清水堂不忍ノ池 日本橋江戸ばし 水道橋、駿河台 王子装束急の木大晦日の孤火 四ツ谷内蔵新宿 芝神明増上寺 真崎より水神の森内川閑屋の里を 見る図	歌川広重遺言状(9月2日付) 名所江戸百景 上野清水堂不忍ノ池 名所江戸百景 日本橋江戸ばし 名所江戸百景 水道橋、駿河台 名所江戸百景 王子装束急の木大晦日の孤火 名所江戸百景 四ツ谷内蔵新宿 名所江戸百景 芝神明増上寺 名所江戸百景 真崎より水神の森内川閑屋の里を見る図 (会期中展示替え) 名所江戸百景 墨田河橋場の渡かわら 籠 (会期中展示替え)	歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画 歌川広重/画	1858年(安政5) 1856年(安政3) 1857年(安政4) 1857年(安政4) 1857年(安政4) 1857年(安政4) 1857年(安政4) 1857年(安政4) 1858年(安政5) 1857年(安政4)	83200011 83200043 83200064 83200119 83200087 83200080 83200036 83200037	1回目のみ展示

テーマ	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号	備考
歌舞台	芝うらの風景	名所江戸百景 芝うらの風景 (会期中展示替え)	歌川広重/画	1856年 (安政3)	83200109	2回目のみ展示
	千住の大はし	名所江戸百景 千住の大はし (会期中展示替え)	歌川広重/画	1856年 (安政3)	83200104	
	日本橋雪晴	名所江戸百景 日本橋雪晴 (会期中展示替え)	歌川広重/画	1856年 (安政3)	83200001	
	湯しま天神坂上眺望	名所江戸百景 湯しま天神坂上眺望 (会期中展示替え)	歌川広重/画	1856年 (安政3)	83200118	
歌舞台	歌舞伎の舞台	彌形屋江戸絵巻 (2回目) (会期中展示替え)	歌川国貞 (初代) / 画	1858年 (安政5)	88202851 ~ 53	2回目のみ展示
	芝居小屋前のようす	大芝居繁栄之図 (会期中展示替え)	歌川国貞 (初代) / 画	1859年 (安政6)	91210056 ~ 58	
⑥ 江戸時代のおわり	ペリー	近世職人絵巻	狩野島川 / 画 (北尾政美 / 画)	1890年 (明治23)	90207335	1回目のみ展示
	黒船・ペリー	提督ペルリ	歌川豊国 (初代) / 画	1817年 (文化14)	92200433 ~ 35	2回目のみ展示
	黒船のようす	江戸之四季下 (会期中展示替え)	森川蕉亭 / 画	1919年 (大正8)	98000057	
	ペリー横浜来航の図	歴史科教授用参考掛図第十輯 ペリー一画像	三木光斎 / 画	1916年 (大正5)	89001843	1回目は写真ハネル
	ペリーの日本遠征を伝える新聞	『異国落葉籠』		1858年 (安政元)	93008700	
	ペリー横浜来航の図	『異国落葉籠』	W・ハイネ / 画 E・プラウソン / 版		89201720	1回目は写真ハネル
	ペリーの日本遠征を伝える新聞	ペリー横浜来航の図		1854年 (嘉永7) 3月8日	93200303	
	黒船が来たぞ！	The U.S. expedition to Japan (黒船来航) (The Illustrated London News)		1853年 (嘉永6)	96202000	1回目のみ展示
	江戸城近くで暗殺事件発生	米船渡来旧詰藩士固之図 (会期中展示替え)	東洲勝月 / 画	1889年 (明治22)	91222056	2回目のみ展示
	うちこわしのようす	六國国海岸御固行列之図 (会期中展示替え)		[1854年・嘉永7年頃]	91222438	
木戸孝允	【複製】幕末江戸市中騒動図 (東京国立博物館原蔵)	細谷松茂 / 画	[1866年 (慶応2)]	90900084	1回目は写真ハネル	
坂本龍馬	木戸孝允肖像画	東亜出版社	1922年 (大正11)	06001316		
大久保利通	維新志士 坂本龍馬 肖像写真	小林清親 / 画	明治前期	86995230	1回目は写真ハネル	
西郷隆盛	大久保利通肖像			91210130		
戦場視察のようす	西郷隆盛	村田丹陵、松岡録堂、 田中有美 / 画 木村楊堂 / 刻	1891年 (明治24)	96970042	2回目は写真ハネル	
勝海舟	西郷隆盛が出した手紙	西郷吉之助	1868年 (明治元)	89205151		
勝海舟	勝海舟	川村清雄 / 画	明治前期	85200434	2回目は写真ハネル	
『断腸之記』	江戸城明渡の帰途 (勝海舟江戸開城図)	勝海舟 / 著	1888年 (明治21)	89205108		
『断腸之記』原稿	勝海舟先生断腸記稿本	勝海舟	1888年 (明治21) 7月後序	89205203 ~ 04	1回目のみ展示	
勝海舟が書いた日記	海舟日記 (原本) 1 ~ 25	勝海舟 / 著	1861年 (文久2) 8月17日 ~ 1898年 (明治31) 12月31日	94201697 ~ 721		
徳川慶喜	【パネル】「勝海舟生誕の地」石碑				1回目は写真ハネル	
徳川慶喜	歴史科教授用参考掛図第十二輯 徳川慶喜画像			89001861		
大政奉還	江戸幕府のおわり	新撰歴史掛図 大政奉還・天皇入府	小原要逸 / 校閲	88203090	1回目は写真ハネル	
海外のメディアでも	HARPER'S WEEKLY Vol. X.II No. 592			95203079		
判じ絵	江戸名所 はんじもの	江戸名所 はんじもの	歌川国輝 (2代) / 画	1858年 (安政5)	88200413 ~ 14	

【資料8】 企画展「えどはくでおさらい! 明治・大正時代」展示リスト

章	項目	No.	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号	
1 明治維新のはじまり	新政府の成立	1	五倫の道について書かれた高札	太政官高札		1868年(慶応4) 3月	88020024	
		2	キリスト教の禁止について書かれた高札	太政官高札		1868年(慶応4) 3月	89000273	
		3	【ハネル】五箇条の御誓文					
		4	【ハネル】旧江戸城と高札場	旧江戸城写真ガラス原板 半蔵門	横山松三郎/撮影	1871年(明治4)	90363685	
		5	【人物】明治天皇	明治天皇眞影			86975244	
		6	明治天皇東幸の図	東京府御東幸行烈図	歌川芳虎/画	1869年(明治2)	91200170~2	
		7	多摩川を渡る明治天皇の行列	武州六郷船渡図	月岡芳年/画	明治初期	94203256~8	
		8	【ハネル】新政府の使節	Japanese special Ambassador Iwakura (岩倉特命大使) The Illustrated London News		1872年(明治5) 10月12日	96202146	
		9	【ハネル】鹿藩置県					
		10	地租改正の地図	武蔵国多摩郡上成木村下分絵図 明治八年地租改正図		1975年(明治8)	89205270	
		11	土地の所有者に発行された地券	明治九年改正 地券 (武蔵國橋樹郡神戸町)	神奈川県主事郡長/作成	1888年(明治21) 3月20日	87103527	
		12	学制をさだめる	学制		1872年(明治5) 7月	01000345	
		13	「わかるかな? 読めるかな?」	兄学 教導単語之図 第二		1875年(明治8) 4月	89975285	
		14	小学校の教科書	『小学読本』 巻1~5	神原芳野(1~3)、那珂通高、 稲垣千穎(4~5)/撰 北爪有郎/画	1874年(明治7) 5月	91200649~53	
		15	体操の授業	『小学算術書』 1~2	文部省/編纂	1973年(明治6)	88022135~6	
		16	徴兵令によって組織された軍隊	『小学唱歌』 1	伊澤修二/編	1892年(明治25) 3月14日	91211850	
		17	陸軍の訓練	児童教育体操遊戯双六		1900年(明治33)	93200447	
		18	「徴兵のがれの心得」	東京鎮台歩兵第一聯隊第二大隊 竹橋練兵場			88002370	
		19	双頭レール	刑罪之早分・徴兵免之心得 双頭レール(汐留遺跡出土)	木村善二郎/編輯	1881年(明治14) 11月	88002385	
		20	【ハネル】官営模範工場① 軽工業	東京真画名所図解 千住ラシヤ製造場			88147122	
		21	【ハネル】官営模範工場① 重工業	株式会社東京石川島造船所全景	井上安治/画		01300035~6	
		22	民間の製紙会社	王子製紙会社略図	歌川房胤/画	1877年(明治10) 9月3日	88002729	
		23	明治初めころのお金	明治一分銀(三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託) 太政官札	貨幣司/鑄造 太政官會計局/製	1868~9年(明治1~2) 1868年(慶応4)	88208055 99101019~20 88020339	
24	「円」の登場		明治通宝 五円 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	大日本帝国政府 大蔵卿	1872年(明治5) 6月25日	99117358		
			旧二十円金貨 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	大日本帝国	1870年(明治3)	99101020、99100082		
25	政府発行の紙幣		二銭銅貨(三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	大日本帝国	1870・1872年(明治3・5)	99101088~9		
			旭日章大五十二銭銀貨 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	大日本帝国	1871年(明治4) 10月15日	99117233		
			大蔵省兌換証券 金拾圓 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	為替座 三井組	1881年(明治14) 2月	99117404		
			改造紙幣 壹圓 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	大日本帝国政府 大蔵省紙幣局				

章	項目	No.	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号			
2	文明開化が花びらく 変わる人びとの暮らし	26	兌換紙幣	旧兌換銀行券 拾圓 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	日本銀行	1885年(明治18)	99176404			
				甲号兌換銀行券 五圓 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	日本銀行	1899年(明治32)	99176452			
				27	第一国立銀行	東京海運橋第一国立銀行の全図 井近円の市中央一覽の図	歌川虎重/画	1876年(明治9)	91210319~21	
				28	【ハネル】 ジョサイア・コンドル	ジョサイア・コンドル (東京大学生産技術研究所 藤森照信研究室所蔵)				
				29	鹿鳴館の「持送り」	旧鹿鳴館の持送り			1897年(明治30)	95007921
				30	鹿鳴館の概観	鹿鳴館				91001856
				31	【ハネル】 旧岩崎邸	旧岩崎邸園 (財団法人東京都公園協会提供)				
				32	【ハネル】 エドワード・S・モース	モース博士				90008352
				33	大森貝塚の発見	SHELL MOUNDS OF OMORI	エドワード S. モース/著	1879年(明治12)	92202391	
				34	『日本その日その日』	Japan day by day 1877, 1878-79, 1882-83 vol.1.1~2	エドワード S. モース/著	1917年(大正7)	10月1日	01604555~6
				35	蒸気船の開通	東京横浜往返蒸気船ノ図	歌川国輝 (2代) /画	1872年(明治5)		99200060
				36	銀座通りれんがが街	東京名所之内銀座通煉瓦造鉄道馬車往復図	歌川広重 (3代) /画	1882年(明治15)	7月	89200832~4
				37	銀座通りの赤れんが	銀座煉瓦街の赤煉瓦	歌川広重 (3代) /画	1876年(明治10)		09870001
				38	ガス灯にそっくりなランプ灯	ランプ灯カバナー	英斎/画	1886年(明治19)	2月	89208869
				39	浅草も赤れんがの街に	東京浅草觀世音並ニ公園池煉瓦屋新築繁盛新地遠景之図	英斎/画	1886年(明治19)	2月	89212363~5
				40	人力車の登場	写真 人力車	歌川広重 (3代) /画	1875年(明治8)		88002391
				41	日本橋の電信局	東海名所改正五十三駅 改正道中記 一 日本橋 伝信局	歌川広重 (3代) /画	1875年(明治8)		88200010
				42	日本で最初の電話機	ガワーベル電話機		1890年(明治23)		90361601
				43	速くにいる人とも話ができる	壁かけ電話図 男女				90364646
				44	錦絵新聞	東京日々新聞 八百三十二号 (浅草奥山の大捕物)	落合芳幾/画			892000842
				45	突然太陽層に…	明治六年癸酉頒曆	文部省天文局		1872年(明治5)	90207317
				46	黒ボスト					97900001
				47	【ハネル】 お屋を知らせる「ドン」!	午砲 (江戸東京たてもの園所蔵)				
				48	ダルマ自転車	ダルマ自転車	国友/製作		1891年(明治24)	90360012
				49	牛乳を飲もう	阪川牛乳商店 牛乳瓶	阪川牛乳商店/牛乳製造			02004820
				50	牛乳の会社番付	四谷軒 牛乳瓶	四谷軒/牛乳製造			02004818
				51	牛鍋を食べよう	酪農社 牛乳瓶	酪農舎/牛乳製造			02004819
52	【ハネル】 明治時代からの牛鍋	大日本東京牛乳搾取業一覽			1888年(明治21)	99200287				
53	明治のイケメンたち	『牛店雑談 安愚楽鍋』初編、二編上下、三編上下 牛鍋 (太田なわのれん 協力)	仮名垣魯文/著	(復刻) 1984年(昭和59)		92201158~62				
54	さんざり頭を叩いてみれば	開化好男子	水野年方/画		1890年(明治23)	7月5日	90200733~4			
55	明治時代のドレス	『O-HA-YO』	ジョルジュ・ピゴア/画		1883年(明治16)		90203677			
56	大礼服	ドレス		明治期			89200580~1			
57	福沢諭吉	大礼服		1902年(明治35)	6月3日		882006101~5・7~8			
							86975172			

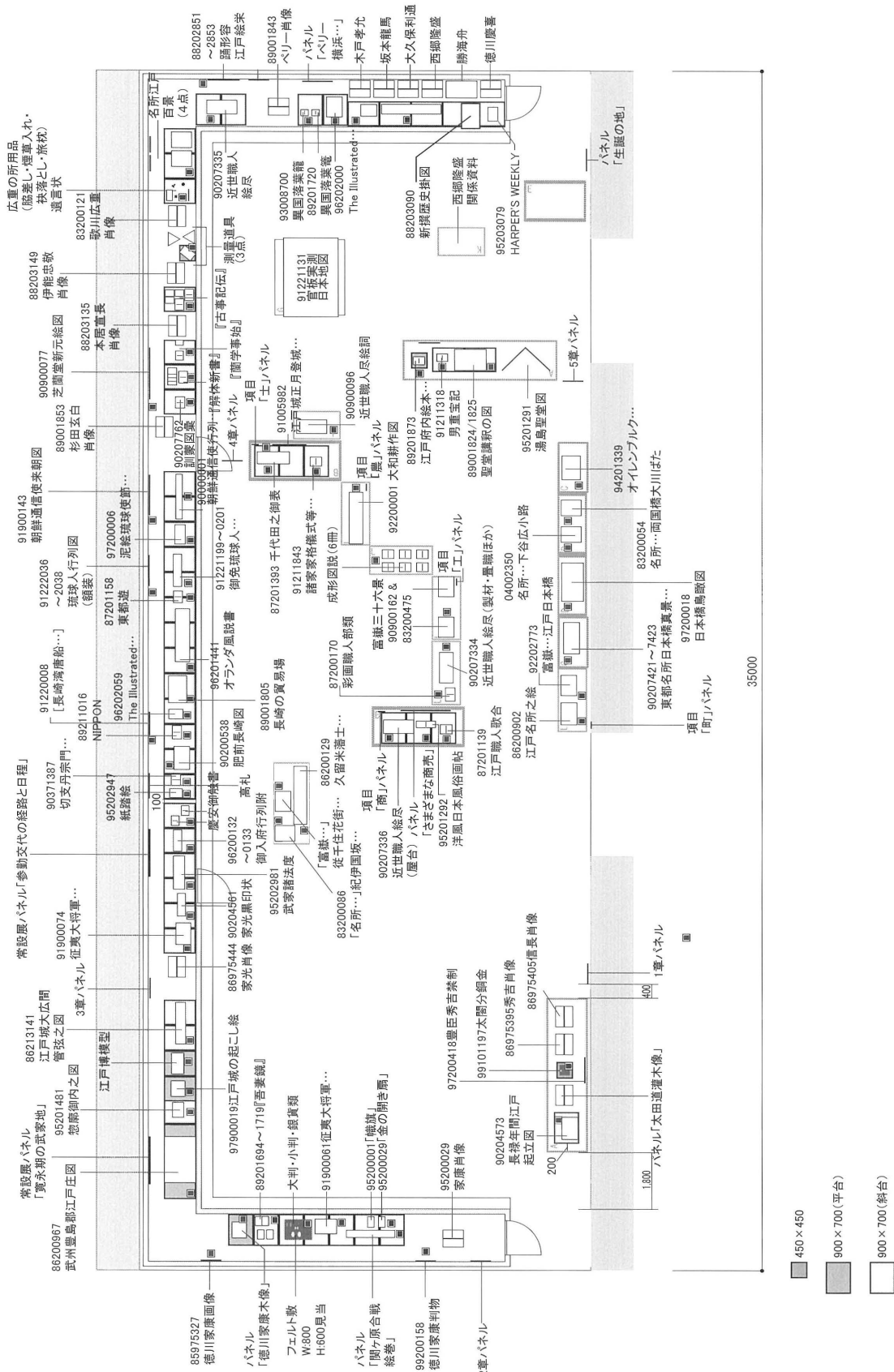
章	項目 No.	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号
3 広がる自由民権運動	58	『学問のすゝめ』	『学問ノススメ』初編～八編	福沢諭吉/著	1873年(明治6)4月～ 1874年(明治7)4月	90364510～7
			『西洋事情』初編 1～3	福沢諭吉/著	1870年(明治3)/再刻	86200975～7
	59	『西洋事情』	『西洋事情』二編 1～4	福沢諭吉/著	1870年(明治3)/再刻	86200978～80
			『西洋事情』外編 1～3	福沢諭吉/著	1870年(明治3)/再刻	86200981～4
	60	西郷隆盛	西郷隆盛			86975170
	61	西南戦争	『鹿児島戦争記』	小林年光/画	1877年(明治10)4月23日	89975321～3
	62	『鹿児島戦争記』	『鹿児島戦争記』	篠田仙果/著 小林清親/画	1877年(明治10)3月3日 ～5月4日	86221187～96
	63	おっぺけべー節の双六	川上新作おっぺけべー歌入双六	楊斎延一/画	1891年(明治24)	97200054
	64	【パネル】板垣退助	板垣退助(国立国会図書館所蔵)			
	65	自由民権運動	『板垣政法論』	板垣退助/述 植木技盛/筆記	1881年(明治14)3月	96200829
66	自由党宣言	自由党宣言		1891年(明治24)5月29日	95203112	
67	大隈重信	大隈重信			86975175	
68	大隈重信の著書『国民読本』	『国民讀本』	大隈重信/著	1910年(明治43)	88146809	
69	思い描かれた未来の議論	二十三年の未来記	尾形月耕/画	1883年(明治16)5月	93200248～50	
70	立憲政友会趣旨書	立憲政友会趣旨書	伊藤博文/作成	1900年(明治33)8月30日	88022085	
71	【人物】伊藤博文	伊藤博文			88105110	
72	『大日本帝国憲法』	『大日本帝国憲法』明治二十二年二月十一日發布		1889年(明治22)2月12日	91200712	
73	大日本帝国憲法の發布	憲法發布式之図	歌川国利/画	1889年(明治22)3月9日	94203126～8	
74	【パネル】大日本帝国憲法と五市憲法					
75	帝国議会のように	大日本帝国議会之図	松者吟光/画	1890年(明治23)	90209835～7	
4 国際社会への船出	76	欧米との不平等条約	『魯西亜國條約並稅則』(五國條約書附稅則 1)	和泉屋吉兵衛/版	1859年(安政6)	87201472
			『佛蘭西國條約並稅則』(五國條約書附稅則 2)	和泉屋吉兵衛/版	1859年(安政6)	87201473
	77	治外法権がなくなれば…。	『英吉利國條約並稅則』(五國條約書附稅則 3)	和泉屋吉兵衛/版	1859年(安政6)	87201474
			『阿蘭陀國條約並稅則』(五國條約書附稅則 4)	和泉屋吉兵衛/版	1859年(安政6)	87201475
	78	ノルマントン号事件の発生	『垂墨利加國條約並稅則』(五國條約書附稅則 5)	和泉屋吉兵衛/版	1859年(安政6)	87201476
			『内地雜居 未来の夢』	坪内逍遙/著	1886年(明治19)	99001521～6
	79	【人物】陸奥宗光	陸奥宗光(国会図書館所蔵)			94203120
	80	治外法権の撤廃で	内地雜居滑稽双録	小林清親/画	1899年(明治32)	96201174
	81	治外法権の撤廃と東京の未来	『東京未来繁盛記 内地雜居』	大久保常吉/著	1887年(明治20)	98603849
	82	朝鮮半島の内乱を伝える錦絵	朝鮮伝聞記	安達吟光/画	1882年(明治15)8月	0364205、91975052～3
83	朝鮮半島の内乱を伝える本	『繪入 朝鮮變報録』	渡辺文京/輯	1882年(明治15)8月3日	86221318	
84	日清戦争の準備	『朝鮮變事略報』	忠重/編輯	1882年(明治15)8月25日	86221866	
85	日清戦争がはじまる	改正東京里程測量新図 附全国鉄道線路及横浜全図	兒玉又七/編	1894年(明治27)3月	986221866	
86	日清戦争の勝利を伝える錦絵	平壤攻撃電氣使用之図 海軍海軍攻撃之図	小林清親/画 延保/画	1894年(明治27) 1895年(明治28)	90364206、 91975054～5 88003310～2	

章	項目 No.	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号
4 国際社会への船出	87	下関講話会議を伝える新聞号外	日清戦争関係新聞号外 (中央新聞号外)	中央新聞社	1895年 (明治28)	89211343
	88	日清戦争勝利のがい旋	元師陛下御還幸日比谷原凱旋門図	延保/画	1895年 (明治28)	91200214~6
	89	日清戦争勝利のがい旋門	日清戦争凱旋門 (京橋)		1895年 (明治28)	7650132
	90	台湾を領土に	日本周遊双六	水野年方/画	1896年 (明治29)	94204075
	91	台湾をゆずり受ける	『風俗画報』 第109號 (1896.2臨時増刊)		1896年 (明治29)	8601608
	92	日英同盟の頃	日英同盟唱歌	与謝野鉄幹/作歌	1902年 (明治35)	91212704
	93	ロシアの勢力拡大の風刺	滑稽歐亞外交地圖	西田助太郎/画 小原喜三郎/案	1904年 (明治37)	94002495
	94	日露戦争を伝える写真雑誌	『日露戦争写真画報』	芥木寛直/編	1904年 (明治37)	90015445~9
	95	絵はがきのブーム	日露戦争戦捷記念絵葉書	通信省/発行	1904年 (明治37) ~ 1905年 (明治38)	88102930、7470、 88131725、38、43、 7428、8558
	96	東郷平八郎	日本海大海戦旗艦二笠艦橋の東郷元帥	東城鉦太郎/画 東京日日新聞社/発行	1935年 (昭和10)	94002452
	97	日露戦争の勝利記念章	明治37・38年征軍記念章		1905年 (明治38)	89000894
98	【人物】与謝野晶子	与謝野晶子 (日本近代文学館所蔵)				
99	多くのぎせい者	Japanese dead and Wounded (日本軍の死者と負傷者) (The Illustrated London News)		1904年 (明治37)	96202579	
100	ぎせい者の家族を助ける会	軍人遺族救護義会入会申込書	軍人遺族救護義会	1905年 (明治38)	90012959	
101	【人物】小村寿太郎	小村寿太郎 (国会図書館所蔵)				
102	【ハネル】ポーツマス講話会議	米国ニ於ル日露講和談判 絵葉書		1905年 (明治38)	88137121	
103	ポーツマス講話会議を伝える英字紙	Peace Conference in Portsmouth (ポーツマスの講和会議) The Illustrated London News		1905年 (明治38)	96202789	
104	日比谷焼き打ち事件	日比谷公園心字池すかし絵葉書		1905年 (明治38)	88137079	
105	電車を焼き打ち市民	日比谷焼打事件スケッチ [明治三十八年九月六日夜 街鉄電車の焼打]		1905年 (明治38)	87105006	
106	【ハネル】銅像になった戦没軍人	(帝都名所) 萬世橋停車場前広瀬中佐銅像絵葉書 (帝都十銅像) 萬世橋、広瀬中佐銅像絵葉書		1910年 (明治43)	90990416	
107	韓国併合の記念章	韓国併合記念章		1910年 (明治43)	88135607	
108			朝鮮紙幣改造 沓円 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	韓国銀行 總裁	1910年 (明治43)	99117965
			朝鮮紙幣韓国銀行券 壹圓 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	韓国銀行	1910年 (明治43)	99117989
			朝鮮紙幣韓国銀行券 五圓 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	韓国銀行	1911年 (明治44)	99117990
			朝鮮紙幣韓国銀行券 拾圓 (三菱東京UFJ銀行所蔵、江戸東京博物館寄託)	韓国銀行	1911年 (明治44)	99117991
109	【ハネル】世界で活やくした日本人	津田梅子、北里柴三郎、新渡戸稲造、野口英世 (国会図書館所蔵)				
110	隅田川の工場	『風俗画報』 第162號 隅田堤 中		1898年 (明治31)	94202133	
111	「女性工員」募集のポスター	女工手募集	東京キヤリコ製織株式会社 職工募集事務所	明治後期~大正期	90210594	

章	項目	No.	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号	
5	工業の発展と暮らしの向上	112	【パネル】製糸工場ではたらく若い女性たち	絵葉書 製糸工場 (4)	農商務省商工局工務課工場調査隊/[編著]	明治後期	88107199	
		113	工場労働の調査	『生絲織物職工事情』	樹本阮生/画 婦人世界編輯局/考案	1903年(明治36) 3月31日	89205116	
		114	女性の職業いろいろ	新案明治婦人雙六『婦人世界』5巻1号付録)			1910年(明治43)	95202647
		115	【パネル】カフェーではたらく若い女性	絵葉書 カフェーの女給			大正期	88136913
		116	洋食が家庭料理に	『和洋家庭料理法 全』	赤堀峯吉/著		1914年(大正3) 11月15日	91212093
		117	ビールの普及	『家庭応用洋食五百種 全』	赤堀吉松/他 著		1915年(大正4) 10月10日	91212094
		118	大日本麦酒ビールの瓶	宮内省御用 札幌ビールポスター	札幌麦酒株式会社東京支店		1899年(明治32)	90210680
		119	博覧会のビール売店の地図	大日本麦酒 ビール瓶	大日本麦酒株式会社/製造		1906年(明治39) 以降	02004822
		120	【パネル】博覧会での「ビアガーデン」	東京勸業博覧会全図	大日本麦酒株式会社		1907年(明治40)	00003632
		121	デパートの誕生	東京勸業博覧会 不忍池 池畔の売店 (No.7)	東京勸業博覧会 (株)三越原藏		1907年(明治40)	90995565
		122	相次ぐ雑誌の創刊	【複製】三越ポスター (株三越原藏)	三越呉服店		1907年(明治40)	08900007
		123	民本主義の雑誌	【複製】赤い鳥 第1巻第1号	大日本雄弁会講談社		1924年(大正13) 11月	92201625
		124	【パネル】丸ビルの完成	思想 創刊号	鈴木三重吉		1918年(大正7) 7月1日	92201788
		125	文化住宅の広まり	旬刊朝日 第1巻第1号	岩波書店		1921年(大正10) 10月1日	89206797
		126	ラジオ放送の開始	【複製】解放	朝日新聞社		1922年(大正11) 2月25日	90200627
		127	みんなので囲んで聞くラジオ	絵葉書 (新東京) 郵船ビル 丸ビル 海上ビルデング	黎明会		1919年(大正8) 6月1日	92201619
128	差別のない社会へ	文化村の簡易住宅 平和記念東京博覧会第一會場	洪洋社		昭和前期	88137873		
129	ラジオ放送の開始	【複製】JOAK東京放送局ポスター (NHK放送博物館原藏)	権島勝一/原画		1922年(大正11) 7月10日	89602797		
130	【人物】平塚らいてう	スピーカー付真空管ラジオ			1925年(大正14)	91900008		
131	【パネル】青鞥同人	【複製】全国水平社 則・創立大会決議文	水平社		大正末期～昭和初期	88207024		
132	平塚らいてうのうったえ	【複製】全国水平社 綱領・宣言	水平社		1922年(大正11) 3月3日	92900058		
133	女性にも選挙権を	【複製】全国水平社第十四回大会ポスター	全国水平社		1922年(大正11) 3月3日	92900063		
134	普通選挙の実現を報じる雑誌	平塚らいてう (日本近代文学館所藏)			1937年(昭和12) 3月3日	92900054		
135	普通選挙の入場券	青鞥同人 (日本近代文学館所藏)						
136	労働運動の高まり	【複製】青鞥 第1巻第1号	青鞥社		1911年(明治44) 9月1日	92201665		
137	関東大震災の被災被害を伝える地図	【複製】『婦選なくして真の普選なし』チラシ	婦人参政権獲得期同盟会		1925年(大正14)	94900018		
138	関東大震災の被害 帝国ホテル	『改造』第7巻第5号 普選特輯	改造社		1925年(大正14) 5月1日	90210920		
139	関東大震災の被害 両国	衆議院議員選挙投票所入場券	東京市橋区長		1928年(昭和3) 2月20日	06000941		
140	関東大震災の被害 銀座	5月1日メーデー 全国労働旗の下に！示威行動に参加せよ！	全国労働組合同盟東京連合		昭和前期	93200570		
141	関東大震災の被害 浅草 浅草凌雲閣	大正十二年九月一日震災焼失図 最新東京市全図	木原政吉/著		1923年(大正12) 9月15日	89001720		
142	関東大震災の被害 銀座	関東大震災写真 帝国ホテル付近の火災			1923年(大正12) 9月	05651125		
143	関東大震災の被害 両国	関東大震災写真 両国 国技館			1923年(大正12) 9月	05651140		
144	関東大震災の被害 銀座	関東大震災写真 銀座四丁目交差点付近			1923年(大正12) 9月	05651178		
145	関東大震災の被害 浅草 浅草凌雲閣	関東大震災写真 浅草 十二階 (凌雲閣)			1923年(大正12) 9月	05651195		

章	項目	No.	キャプション	資料名	作者	年代	資料番号
関東大震災と復興	関東大震災の被害 と 復興の東京のようす	142	関東大震災の被害 市内電車に乗りこむ人びと	関東大震災写真 市内電車に群がる人々		1923年（大正12）9月	06651243
		143	関東大震災の被害 新橋駅	関東大震災写真 焼失した新橋駅		1923年（大正12）9月	06651253
		144	関東大震災で焼けた皿と時計	関東大震災で焼けた皿 関東大地震被災の懐中時計		1923年（大正12）9月	04002470
				絵葉書（復興ノ大東京）日本橋大通りノ盛況		大正末～昭和初期	92003464
				絵葉書（復興ノ大東京）銀座ヨリ数寄屋橋方面ヲ望ム		大正末～昭和初期	90015849
		145	復興の東京のようす	絵葉書（復興ノ大東京）日比谷音楽堂 絵葉書（復興ノ大東京）神保町通りノ賑ヒ 絵葉書（復興ノ大東京）上野広小路		大正末～昭和初期	90015853
						大正末～昭和初期	90015850
						大正末～昭和初期	90015854

【資料5】レイアウト図 江戸薙 (1回目)



【資料7】レイアウト図 近代編

